

令和6年度 ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発) (GRIFIN)
中間評価 評価コメント

No.	評価課題名	研究 代表者名	所属機関	役職
03	精神疾患の個別化医療を実現するためのゲノム・空間オミクス 多施設共同研究	徳永 勝士	国立国際医療 研究センター	プロジェクト 長

【評価コメント】

多因子疾患の最後の難関である精神疾患に対して、臨床医師との強力な連携の下、最新のゲノム研究技術を用いた研究が、当初の計画より前倒しで進行しており、すでに多くの有望な候補遺伝子が得られている。この順調な研究進捗と技術の先進性より、今後の展開が大いに期待され高得点となった。また、若手研究者支援プログラムの実施や患者ゲノム結果の適切な開示による成果の社会還元についても高く評価された。

一方で、今後は、得られた遺伝要因に対する研究をさらに深化させるために、モデルマウスやヒト死後脳を活用し、候補遺伝子の機能や影響をより詳細に解明していただきたい。特に、空間オミックスを含む複数の解析方法を組み合わせることで、候補遺伝子と脳機能の関連性をより深く理解することで、新たな治療法の開発につなげていただきたい。

以上